

# 令和元年度 下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会

## 開催主旨

### 1. 開催概要

人口減少・超高齢化社会を迎えるなど社会情勢が大きく変化する中、我々のライフスタイルや働き方について見つめ直すことが求められている。それと同時に、我々の日々の生活や社会活動を支える下水道システム、下水道サービスのあり方についても時代の要請に応じた新たな取組が必要となる。

「下水道・LIFE・えんじん研究会」が平成28年12月にとりまとめた報告書では、介護の現場での利便性等、高齢化社会への貢献が強く期待されるとして、下水道に紙オムツを受入れて集約処理するシステムが提案された。

国土交通省としても、平成29年8月にとりまとめた「新下水道ビジョン加速戦略」の中で、高齢化社会等への対応として、ディスポーザーの活用及び下水道へのオムツ受入れ可能性を検討することを重点施策として掲げている。

こうした動きを踏まえ、国土交通省は、平成30年1月より「下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会」を立ち上げ、概ね5年間で実施する「下水道への紙オムツ受入に向けた検討ロードマップ」（平成30年3月）を策定した。

上記を踏まえ本検討会においては、ロードマップに基づき、下水道に紙オムツを受入に関する社会的ニーズを把握するとともに、技術的・制度的課題への対応策等について検討・審議する。

### 2. 今年度の検討会の進め方

検討会及び技術分科会は昨年度から継続するものとし、両会の委員構成は基本的に変更しない。

#### 【Aタイプ】

実証試験結果を踏まえて、昨年度策定したガイドライン案のフォローアップを行うとともに、性能担保の考え方等を審議する。

#### 【Bタイプ（破砕回収一体型<sup>※1</sup>）】

上半期は、Bタイプのうち破砕回収一体型について、ガイドライン案の策定に向けた審議を行う。破砕回収一体型は当初想定していなかった仕様であるが、住宅局の実証事業で採択され、実証が進んでいることから、破砕した紙オムツの専用配管を有する破砕回収分離型<sup>※2</sup>に先立ち検討を行うものである。

※1：紙オムツの破砕機能と、破砕した紙オムツの回収機能をパッケージ化した装置

※2：紙オムツの破砕機能から、破砕した紙オムツの専用配管を経て回収機能に移送される装置

#### 【Bタイプ（破砕回収分離型）、Cタイプ】

今年度下半期から審議に着手し、令和2年度に継続することを予定する。

#### 【その他】

下半期は、さらに介護施設等におけるニーズ調査、実態調査を実施する。

### 3. 今年度の検討スケジュールと主な審議内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会						①				②	連絡 会議	
技術分科会				①	②				③			

#### ① 第1回技術分科会（令和元年7月17日）

- Bタイプのうち、破砕回収一体型の取扱いについて
- Bタイプ破砕回収一体型のガイドライン化の考え方について
- Bタイプ破砕回収一体型のガイドラインの骨子について

#### ② 第2回技術分科会（令和元年8月22日）

- Bタイプ破砕回収一体型の実証実験等実施における基本的な考え方について（再）

#### ① 第1回検討会（令和元年9月18日）

- Bタイプ破砕回収一体型の実証実験等実施における基本的な考え方について
- 今年度の調査検討方針について

#### ③ 第3回技術分科会（令和元年12月開催予定）

- A、Bタイプ実証試験の進捗について
- Aタイプガイドライン案のフォローアップについて 他

#### ② 第2回検討会（令和2年1月開催予定）

- 介護施設等における実態調査について
- Aタイプガイドライン案のフォローアップについて 他

### 4. 検討会の公開について

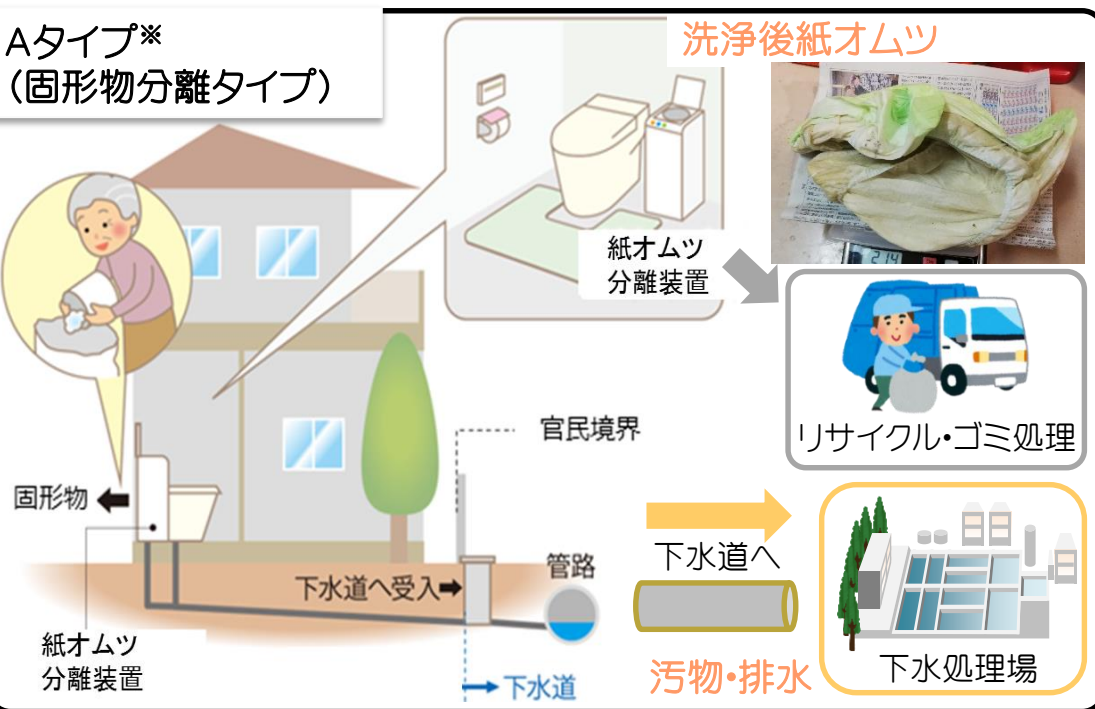
- 検討会は原則として冒頭のみ公開とし、審議は非公開とする。ただし、審議の必要上、座長が必要と認める者は、審議への出席又は傍聴を行うことができる。
- 検討会の資料は原則として公表とする。ただし座長が特に必要と認める場合は、その一部または全部を非公表とすることができる。
- 検討会の議事概要は出席者の確認を取った上で公表する。
- 検討会資料及び議事概要については、検討会后、国土交通省のホームページに公表する。

以上

# 下水道への紙オムツ受入に向けた検討について

- 新下水道ビジョン加速戦略(平成29年8月)において、既存の下水道ストックのさらなる有効活用による付加価値向上に向け、少子高齢社会への対応としての「下水道への紙オムツ受入れ可能性の検討」を位置付け。
- 平成29年度に概ね5年間で実施する検討ロードマップを作成し、ロードマップに基づき3タイプの紙オムツの処理方式を検討することが決定。平成30年度から住宅局と連携し本格的な検討に着手。
- 平成31年3月には実証実験のためのガイドラインを策定。これを受け、平成31年度から実証実験を実施予定。

## Aタイプ※ (固形物分離タイプ)



※他にBタイプ(破碎・回収タイプ)、Cタイプ(破碎・受入タイプ)も想定。  
A、Bタイプは平成30年度より住宅局事業で実証試験を実施中。

使用済み紙オムツが吸収した水分や汚物を下水に排出することで  
廃棄物の減量化が可能、リサイクルも容易に！

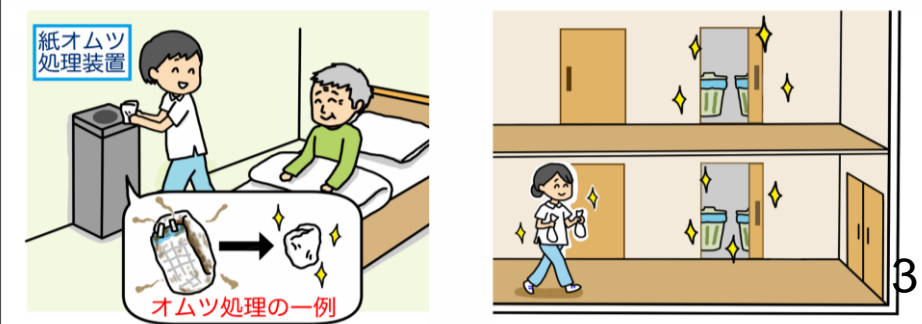
使用した紙オムツは、保管場所の臭気に困り、ごみ置場への運搬も重労働です。

### 施設にて

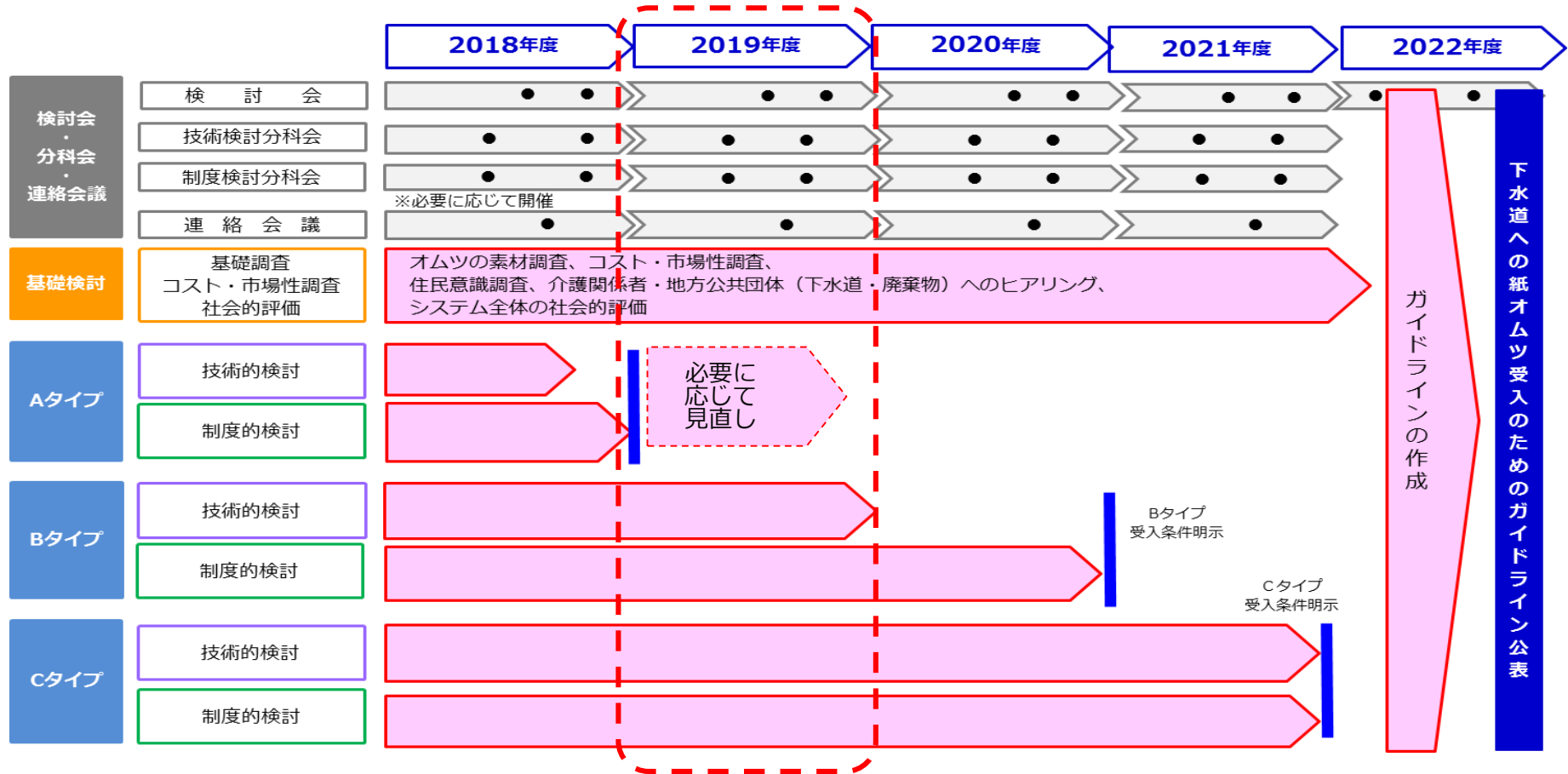


### 紙オムツ処理装置を使うと

部屋に設置している装置に紙オムツを投入すると、臭いが除去され、軽く運びやすくなります。紙オムツ処分に関わる負担が軽減され施設も清潔に保たれます。



○H29年度に作成した検討ロードマップに基づき、引き続き検討を実施。  
 ○H30年度の検討結果を踏まえ、H31年度には必要に応じてAタイプガイドラインのフォローアップも実施。



(参考)

パナソニック株式会社

### 本プロジェクトの目標

- (i) 2018年度目標  
紙オムツ処理機初号機を製作して高齢者施設に設置し、オムツ処理を実施することで、ユーザビリティ評価を実施
- (ii) 2019年度目標  
2018年度 実証結果を元に改善機を製作し、複数個所で、より多くの方々を対象に評価することで検証精度向上

株式会社リクシル

### 目標（スケジュール）

- 2018年度 破砕機構を持つオムツ処理機1台製作、設置
- 2019年度 1台運用して実証、追加設置運用し実証精度向上  
Bタイプ用破砕装置から分離回収まで専用配管仕様確定
- 2020年度 耐久試験、Bタイプ用分離機と専用配管の設計

# 令和元年度上半期の検討について

- 令和元年度上半期は、昨年度より住宅局の実証事業で検討が開始された **B（破碎・回収）タイプの内、専用配管なしの処理装置** について検討することとする。

